

2025年3月期 第1四半期

決算説明会

ニデック株式会社



eVTOL (イメージ)

－ 注意事項 －

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

前頁の写真は、2024年末までに飛行テスト、2026年に型式認証の取得、及び量産開始が予定される米Eve社のeVTOL（電動垂直離着陸機）です。当社の電機駆動システムのみならず、Eve社のeVTOL地上整備マニュアルにおいて当社グループ傘下のニデックASI社製充電器も推奨されることが決定しています。

■ 連結決算業績

(億円)	23年度 第1四半期	24年度 第1四半期	増減率
売上高	5,644	6,482	+14.8%
営業利益	602	603 [※]	+0.1%
営業利益率	10.7%	9.3%	-
税引前利益	861	786	-8.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	641	560	-12.5%
一株利益 (円)	111.5	97.5	-12.5%
対米ドル為替レート			
平均・・・	137.37円	155.88円	+13.5%
期末・・・	144.99円	161.07円	+11.1%

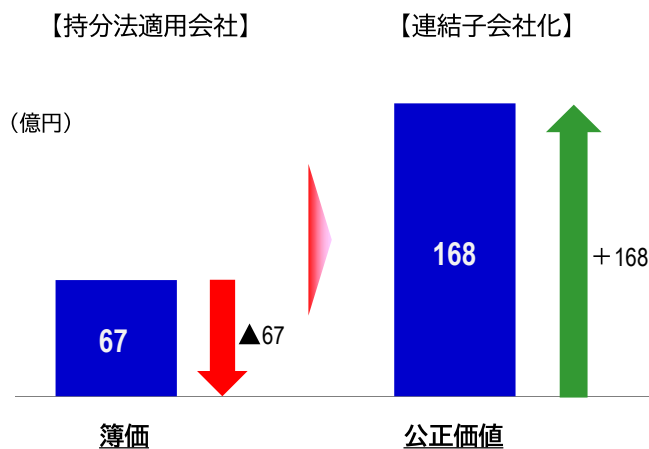
為替感応度：1円あたり米ドルは売上高100億円、営業利益11億円、ユーロは売上高19億円、営業利益4億円（全てFY24通期ベース）

(※)持分法適用会社であったニデックPSAイーモーターズの支配権を獲得したことに伴い、前連結会計年度末日までに保有していた同社の持分を支配獲得日における公正価値で再測定した結果、「段階取得に係る差益」101億円を含んでおります。詳細は、P.4をご参照ください。

3

■ NPe段階取得に係る差益

段階取得に係る差益
▲67億円+168億円=+101億円



当社の持分法適用会社であるNPe(ニデックPSAイーモーターズ)の支配権を獲得したことに伴い、2024年4月1日付で同社を連結子会社化。これにより、前連結会計年度末日までに保有していた同社の持分を支配獲得日における公正価値で再測定した結果、101億円の段階取得に係る差益を認識。

4

■ 2024年度業績予想を上方修正



<期初予想>

<今回の予想修正>

(億円)	上期予想	通期予想	上期予想	修正額	通期予想	修正額
売上高	11,400	24,000	13,000	+1,600	25,000	+1,000
営業利益	1,000	2,300	1,150	+150	2,400	+100
営業利益率	8.8%	9.6%	8.8%	-	9.6%	-
税引前利益	950	2,200	1,300	+350	2,500	+300
親会社の所有者に帰属する当期利益	740	1,650	970	+230	1,850	+200
一株利益 (円)	128.79	287.16	168.81	-	(※1)321.96	-
配当金 (円)	40.00	80.00	40.00	-	(※2)-	-
対米ドル為替レート	145円	145円	145円	-	145円	-
対ユーロ為替レート	155円	155円	155円	-	155円	-

(注) 当社は、2024年9月30日を基準日、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合をもって分割いたします。

※1：分割後の通期の一株利益は160.98円と予想しております。

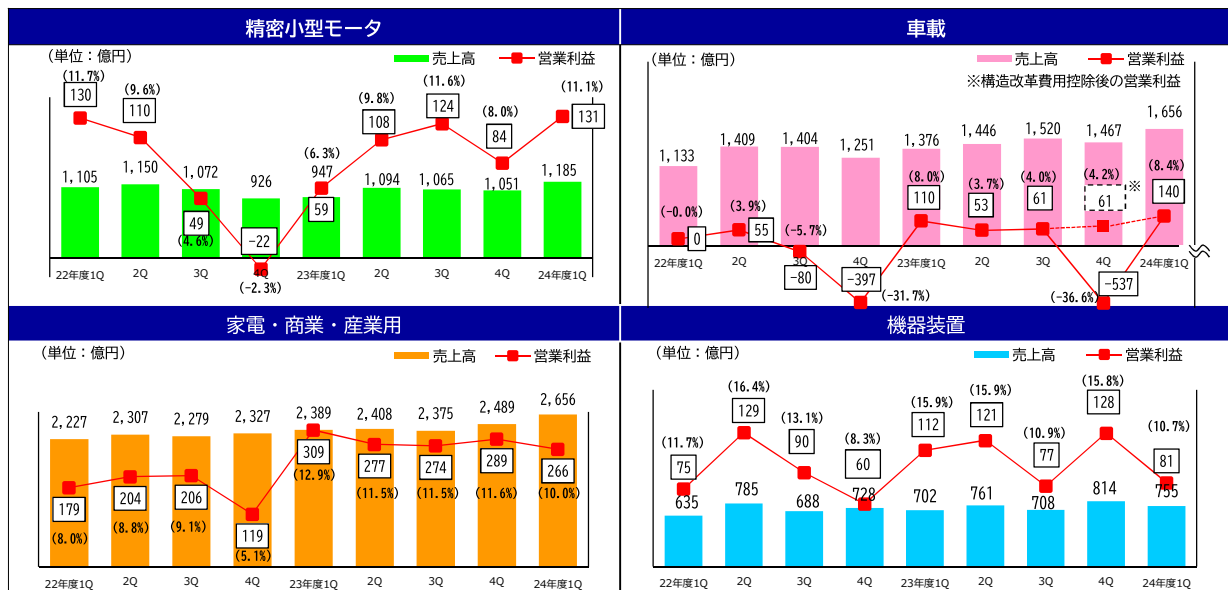
※2：期末配当は分割比率に合わせて20円を予定しておりますが、本修正は分割比率に合わせて実施するものであり、実質的な変更はありません。配当金の年間合計金額については株式分割の実施により単純合算ができないため表示しておりません。

■ 製品グループ別、四半期業績推移

* 25ページに記載の注記にご留意下さい

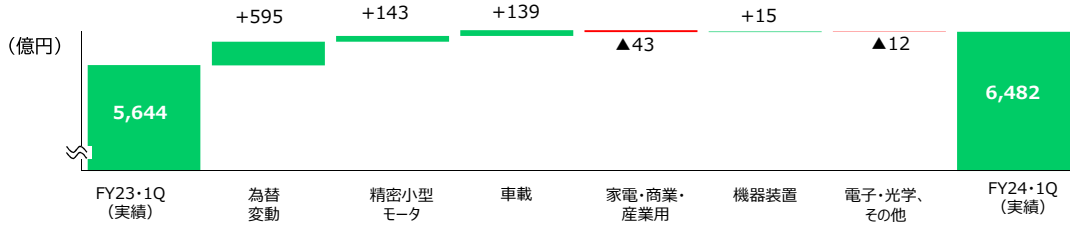


()内の数字は営業利益率

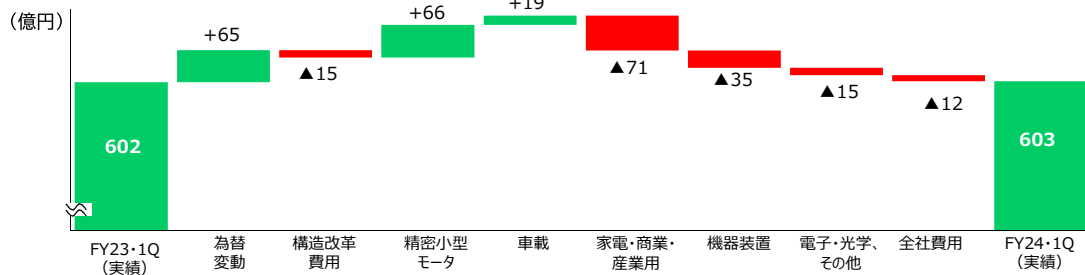


2024年度1Qの前年同期比増減分析

【売上高】

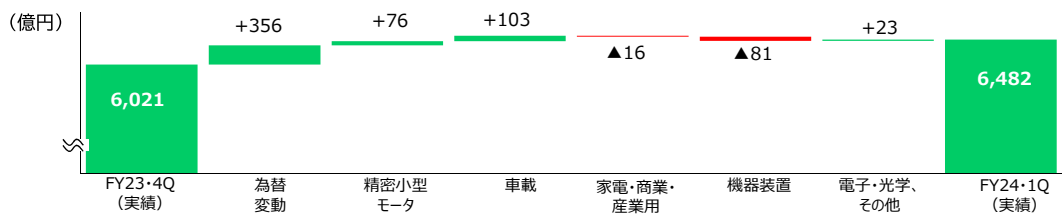


【営業利益】

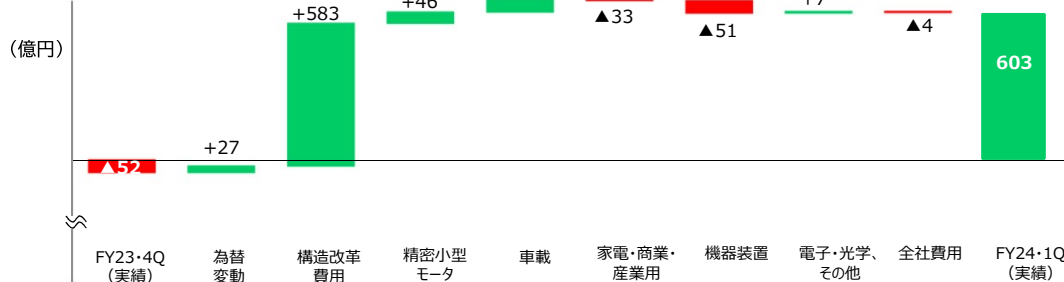


2024年度1Qの直前四半期比増減分析

【売上高】

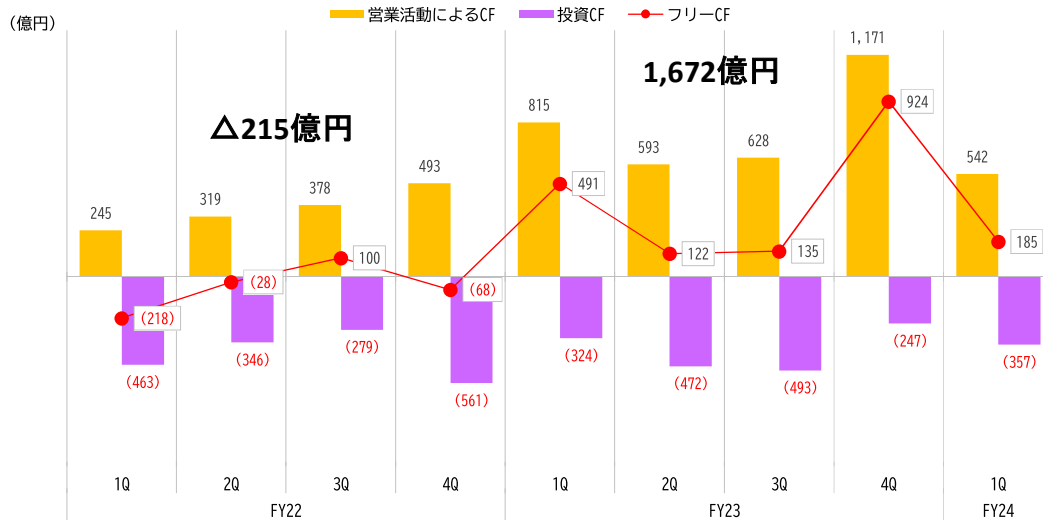


【営業利益】



■ キャッシュフロー経営の推進

キャッシュフロー創出力を向上し、企業価値最大化
(成長投資、株主還元、有利子負債コントロールへ最適バランスで配分)



9

■ 決算ハイライト

- 新経営体制の下、四半期連結会計期間の**売上高・営業利益**において過去最高を更新。
- 特に営業利益は、精密小型モータにおいて収益性の高い事業ポートフォリオへの転換が進んだことや、ニデックPSAイーモーターズ（Stellantis社との合併会社）の連結子会社化に伴う段階取得に係る差益の計上等も奏功。
- 通期及び第2四半期連結累計期間の業績予想を**上方修正**。

10

1Qトピックス

■ 車載事業の戦略転換



販売実績・現地調達力・コスト競争力を武器に多様な車載製品をグローバルに展開

トラクション事業

① 合併:市場拡大の鈍化に適応したリスクミニマイズ完了

▶GNAD (広汽零部件有限公司との合併会社,中国) ▶NPe (ステランティスとの合併会社,欧州)



不採算機種を
受注制限



中国ローカル開発体制
による収益化



欧州に必要な生産能力はすでに確保済
→全体所要の変動に拘わらず高稼働率生産

② 部品:EV黎明期からの開発/販売実績を武器に部品供給

厳しい市場で培った
技術・コスト競争力



モータ スタータ/ロータ

欧州市場動向:
“生存戦略”として中国勢との共存
欧州OEM動向:
中国OEMと提携し輸入/欧州生産

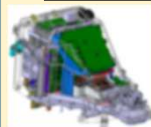


既存事業

ニーズに応える多種多様な製品群で自動車の進化を支える

電源制御

ハイブリッド車向けに新規受注獲得



・インバータ(左記)
26年Q2~
・DCDCコンバータ
26年7月~



電動オイルポンプ



電動ウォーターポンプ



パワステ用



ブレーキ用

シート



ファン用



アジャスタ用



サンルーフ用



エアイベント用
ステッピングモータ



HUD用
ステッピングモータ



ハブティクス



マッサージ用



ライト用ファン



ギアソフト用



ハブティクス
デバイス

etc.. 12

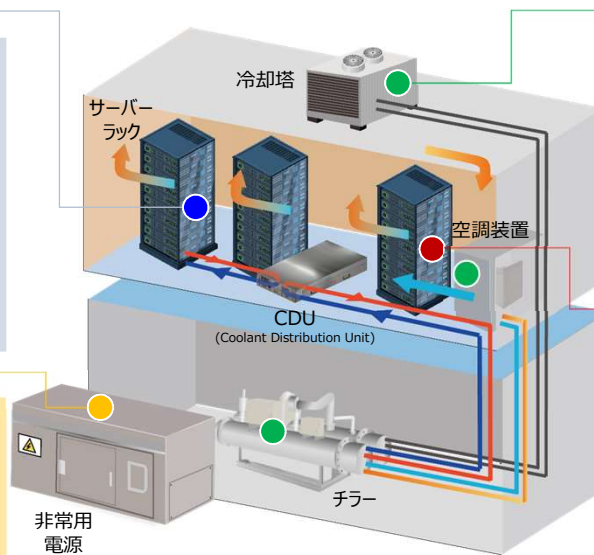
■ AIデータセンターを取り巻く製品

AIデータセンター建設ラッシュに多様なソリューションを展開

水冷システム/空冷FAN/HDD用



BESS / 発電用オルタネータ



空調/チラー/冷却塔 用モータ



半導体検査/搬送ロボット

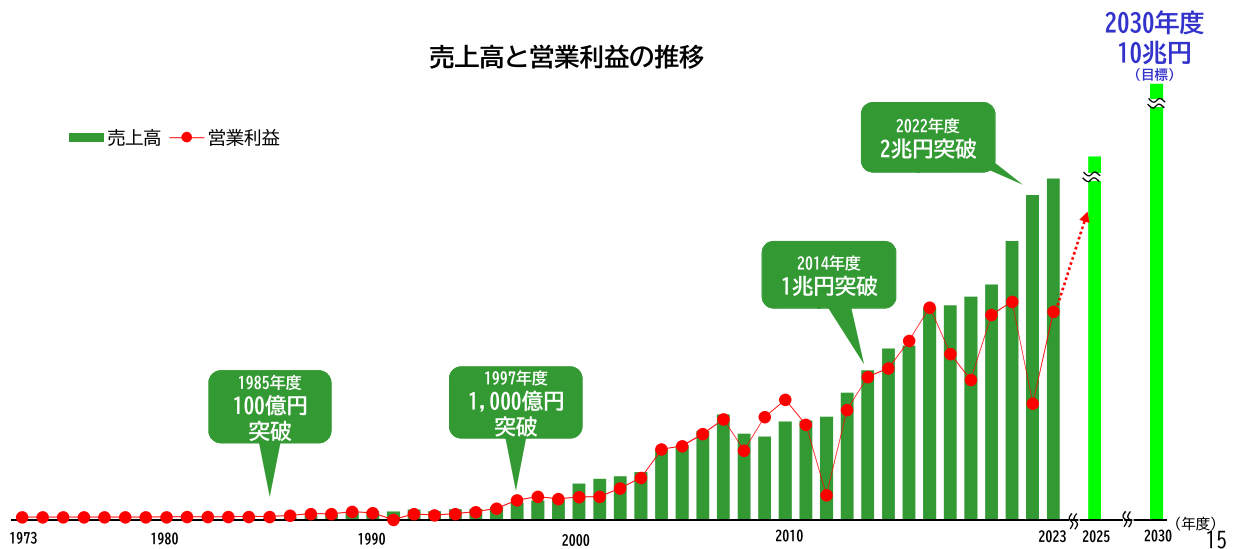


中長期の方向性

■ 中長期の方向性

FY30は、自律成長による売上高7兆円と新規M&Aによる売上高3兆円を合わせた売上高10兆円を目指す

売上高と営業利益の推移



■ 中長期に目指す姿・指標

これまでの強みを継承しながら、“第2の創業”として、“質”を伴った成長で企業価値を高めていく

(1) 目指す姿

● 100年を超えて成長し続けるグローバル企業

➢ 顧客の声(市場動向)	×	ものづくり(高技術)	=	ソリューションビジネス
➢ 多様な人財	×	同じベクトル	=	組織力最大化
➢ 高収益	×	高成長	=	高株価

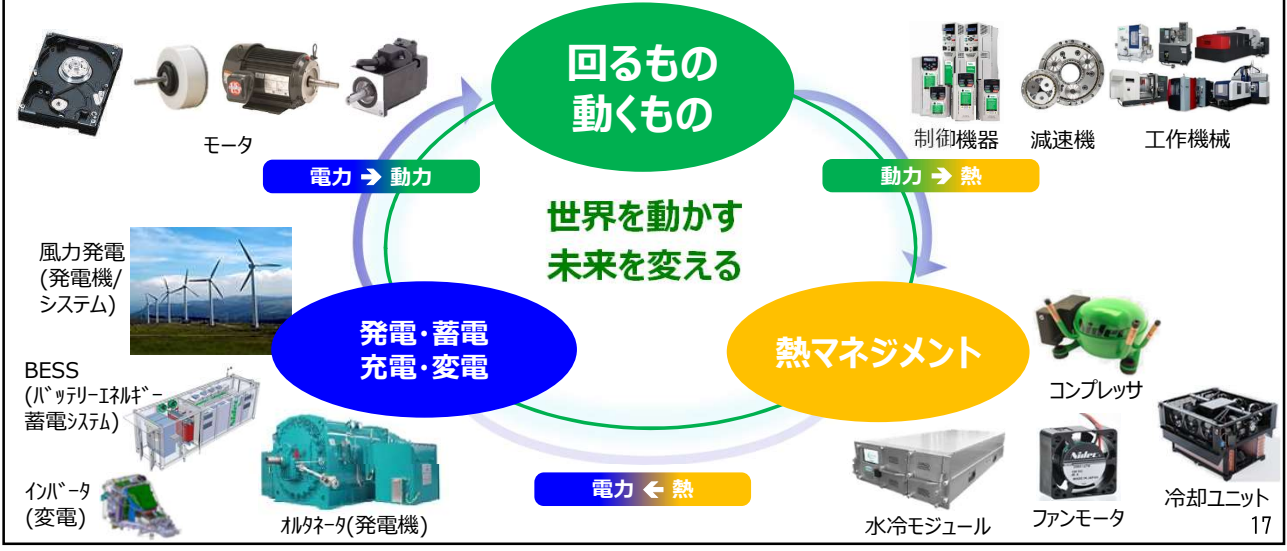
(2) 指標

“時価総額：10兆円” (過去最高を通過点とし、更なる企業価値向上)

- “質”を伴った成長
3Q6S: Quality Worker / Company / Products

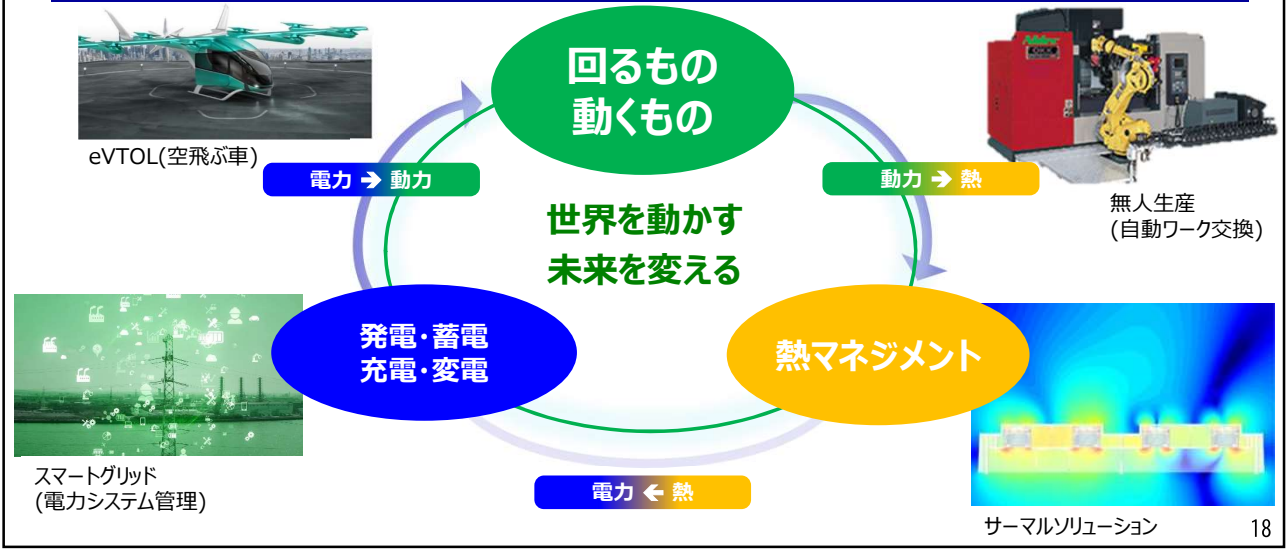
「循環型社会」の実現に向けて

カーボンニュートラル、CO2削減といった環境に配慮した事業活動に加え、“高効率”製品でサステナブルな循環型社会に貢献するリーディングカンパニーとなる



「循環型社会」の実現に向けて

カーボンニュートラル、CO2削減といった環境に配慮した事業活動に加え、“高効率”製品でサステナブルな循環型社会に貢献するリーディングカンパニーとなる



■事業5本柱 ～市場動向を踏まえた5つの注力事業領域～



最先端AI関連市場をはじめ、身の回りからインフラ/エネルギーまで幅広い事業領域で成長

より良い生活の追求 Better Life	サステナブル・インフラ とエネルギーの追求	AI社会を支える	産業の生産効率化	モビリティ イノベーション
生活の質の向上 安心・安全・健康の追求	「作る・貯める・使う」で 世界のインフラ維持に貢献	求められる進化と爆発する 需要へ先回りに対応	モノづくりの省人化/無人化、 高速化/高精度化を牽引	環境に配慮した移動体の 電動化/自動化で拡大
生活家電	発電機	データセンター	工作機械・プレス機	車載部品
商業設備(空調/エレベータ)	エネルギー貯蔵システム(BESS)	半導体検査/リム搬送	精密減速機	電動バイク
				

■事業5本柱 ～市場動向を踏まえた5つの注力事業領域～



最先端AI関連市場をはじめ、身の回りからインフラ/エネルギーまで幅広い事業領域で成長

より良い生活の追求 Better Life	サステナブル・インフラ とエネルギーの追求	AI社会を支える	産業の生産効率化	モビリティ イノベーション
生活の質の向上 安心・安全・健康の追求	「作る・貯める・使う」で 世界のインフラ維持に貢献	求められる進化と爆発する 需要へ先回りに対応	モノづくりの省人化/無人化、 高速化/高精度化を牽引	環境に配慮した移動体の 電動化/自動化で拡大
生活家電	発電機	データセンター	工作機械・プレス機	車載部品
商業設備(空調/エレベータ)	エネルギー貯蔵システム(BESS)	半導体検査/リム搬送	精密減速機	電動バイク
医療/介護	スマートグリッド	AR/VR/デジタルツイン	物流(ドローン)	電動バス
教育	急速充電ステーション	HAPS	スマート農業	ハイブリッド化(鉄道/船舶)
公共福祉/災害	その他蓄電システム関連	AI搭載人型ロボット	建機/フォークリフト	eVTOL(空飛ぶ車)
ヒートポンプ関連	...	量子コンピュータ
...		...		

■事業5本柱 ～市場動向を踏まえた5つの注力事業領域～

最先端AI関連市場をはじめ、身の回りからインフラ/エネルギーまで幅広い事業領域で成長

より良い生活の追求 Better Life	サステナブル・インフラ とエネルギーの追求	AI社会を支える	産業の生産効率化	モビリティ イノベーション
生活の質の向上 安心・安全・健康の追求	「作る・貯める・使う」で 世界のインフラ維持に貢献	求められる進化と爆発する 需要へ先回り対応	モノづくりの省人化/無人化、 高速化/高精度化を牽引	環境に配慮した移動体の 電動化/自動化で拡大
生活家電	発電機	データセンター	工作機械・プレス機	車載部品
商業設備(空調/エレベータ)	エネルギー貯蔵システム(BESS)	半導体検査/ウパ搬送	精密減速機	電動バイク
売上 [兆円]	売上 [兆円]	売上 [兆円]	売上 [兆円]	売上 [兆円]

■地域戦略 ～将来成長に向けた重点地域：インド～

- 複数事業の集合拠点を設置し、ニデックグループ総力で戦略的にインド市場で成長
- ニデックグループ全体のグローバルなソフトウェア開発拠点も設立

◆ 集合拠点を設置し グループ総力で事業成長

▶ 北部：家電・精密小型・車載用



▶ 南部：商業・産業用



完成予想図 (2025年4月竣工予定)

地産地消強化等のビジネス推進を加速

◆ 現地の豊富なIT人材を生かし ソフトウェア開発等 ニデックグループ のCoEとしての拠点を設立

※CoE = Center of Excellence



ノウハウ・リソースを活用しソフトウェア開発能力を強化

Tata Elxsi Limited社とMOUを締結('24/7)

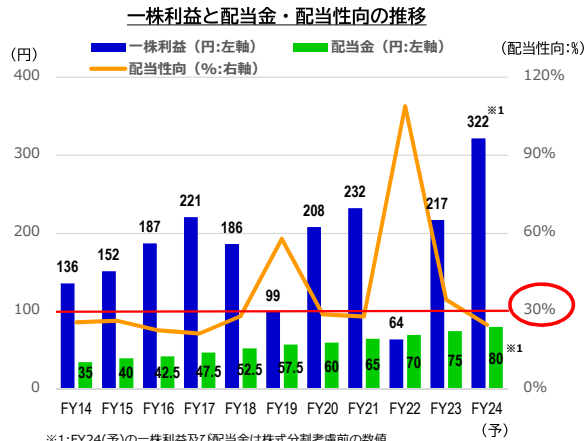
■ キャッシュフロー創出と株主還元

「キャッシュフロー創出力の向上」による株主還元の充実化

キャッシュフロー創出力向上
(ROIC経営)

株主還元
(資本政策)

既報、自己株式取得枠の設定に加え、
以下の還元施策を実施していく



• 配当性向

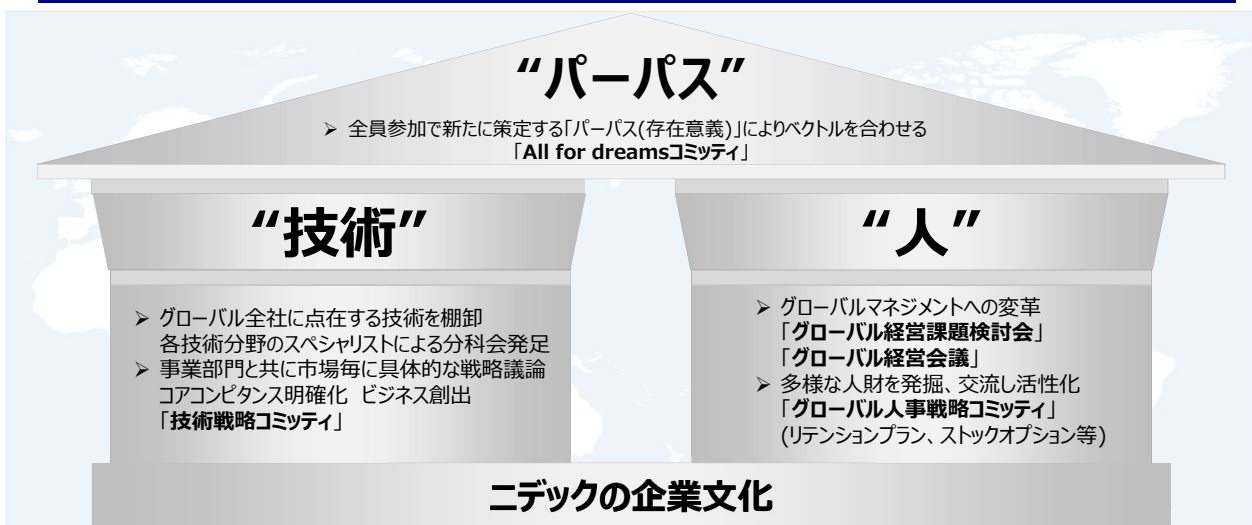
配当性向30%を目処とした安定的・継続的な配当を実施

• 株式分割

基準日 : 2024年9月30日
効力発生日 : 2024年10月1日
分割比率 : 普通株式1株につき2株

■ 更なる成長に向けた体制強化

グローバルに多様な人財・組織の総力で、「技術と人」をベースに変革と成長を実現



ニデック企業CM「浮遊篇」と「開発者たちの視点篇」公開中！



お問い合わせ先
ニデック株式会社 IR部
Tel： 075-935-6140
E-mail： ir@nidec.com

注記：IFRS第3号「企業結合」の規定を適用しております。

前連結会計年度のAutomatic Feed Company、Lasercoil Technologies LLC、及びAutomatic Leasing Companyの持分取得により取得した資産、引き継いだ負債に関する公正価値評価を当第1四半期連結会計期間に見直しました。これにより前連結会計年度の連結財務諸表については、暫定的な会計処理の見直しによる取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっています。

その他、前連結会計年度及び当第1四半期連結累計期間の買収等により取得した資産、引き継いだ負債のうち、現在評価中の資産、負債については、当第1四半期連結会計期間末日時点の予備的見積りに基づいています。

25

補足資料

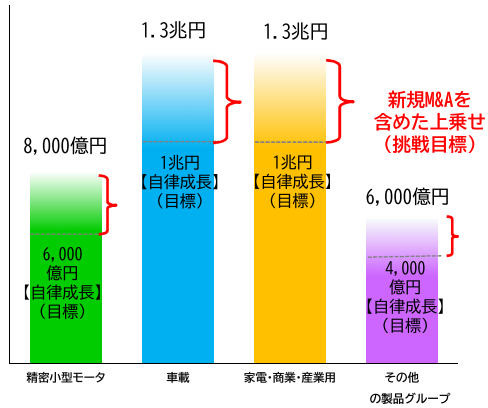
業績推移・ 製品グループ別状況

26

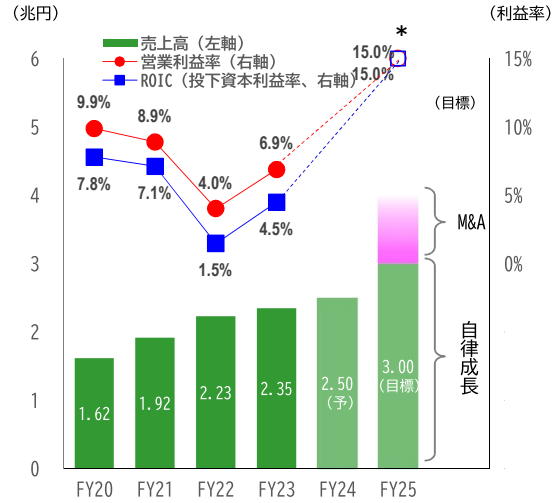
■ 中期戦略目標 Vision2025

2025年度
売上高：4兆円（目標）

売上高目標4兆円を製品グループ別に分解



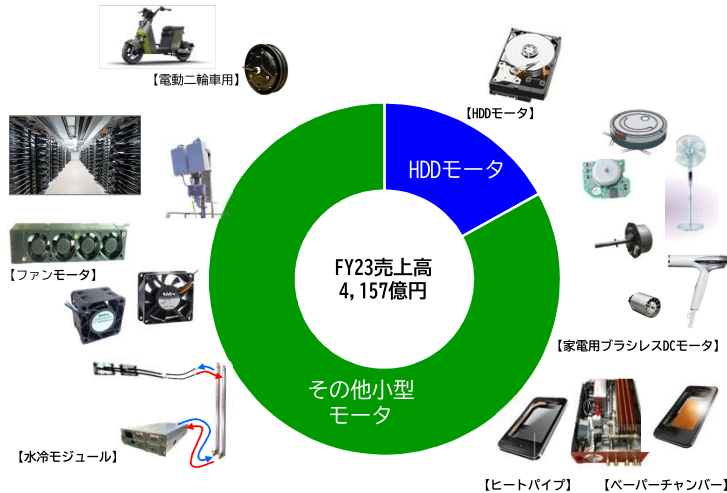
売上高3兆円（営業利益率15%）
とM&A1兆円で、計4兆円



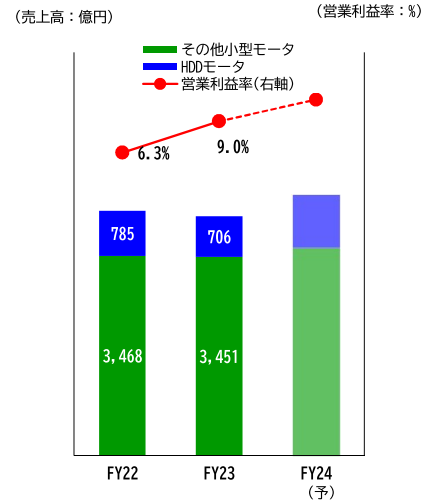
■ 精密小型モータ：サブセグメント別業績の内訳と推移

FY23中盤以降IT関連需要はスローながらも回復途上。生成AI関連で新ビジネスの萌芽

【精密小型モータの売上高ポートフォリオ】

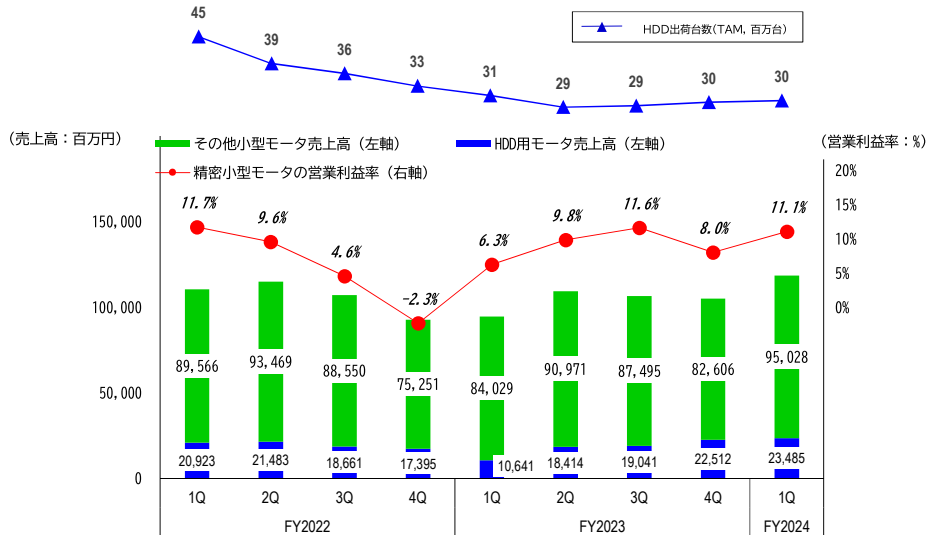


【精密小型モータの売上高と利益率推移】



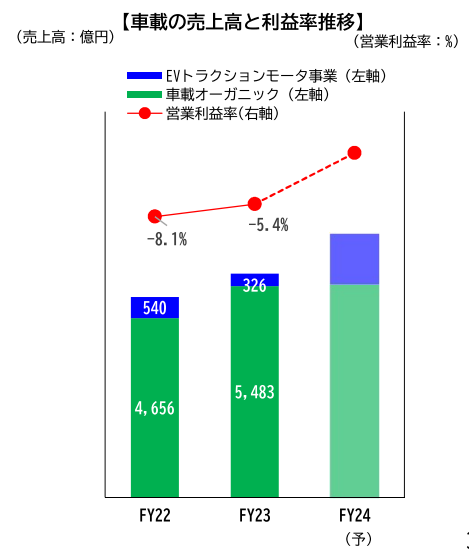
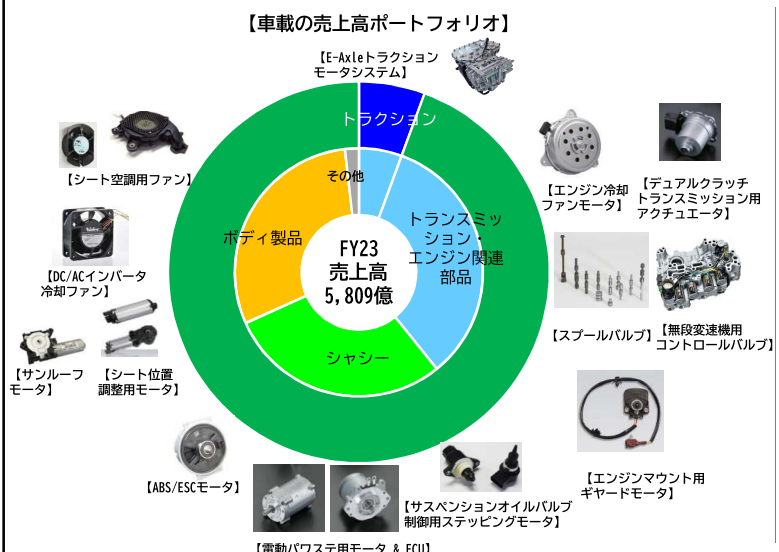
■精密小型モータ：四半期別業績推移

中期成長を見据えた種蒔きと短期業績の回復に向けた **WPR-X** 活動を同時に推進



■車載：モータから周辺部品まで幅広く取り揃え

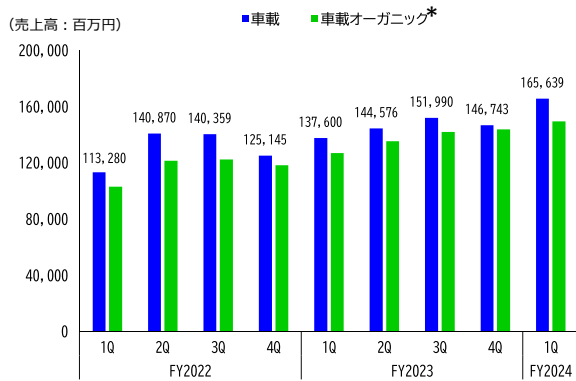
CASE革命による旺盛な電動化需要を待ち伏せし世界No.1の車載システム企業を目指す



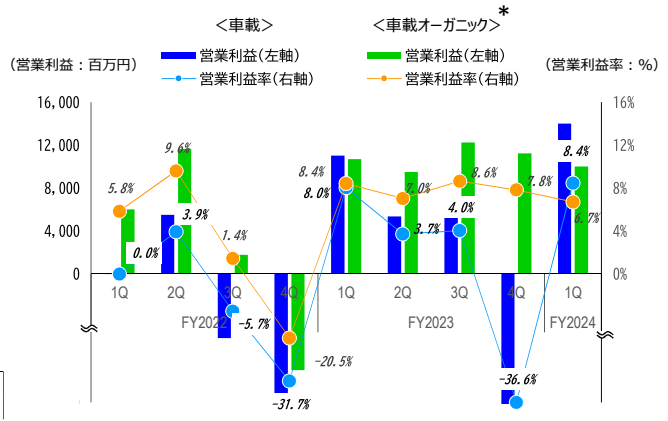
■ 車載：四半期別業績推移

FY23の構造改革を経てV字回復へ。収益体質の強化に向けた体制を整備

【売上高の推移】



【営業利益額と営業利益率の推移】

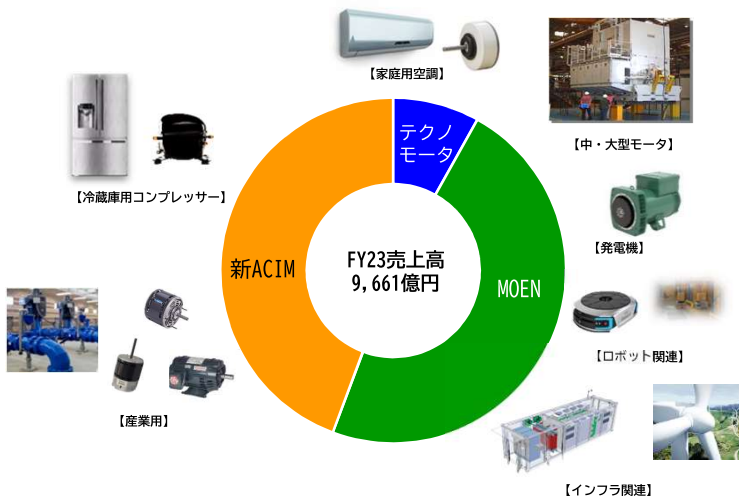


*車載オーガニック…車載から、EVトラクションモータ事業による業績影響を除外したものの。

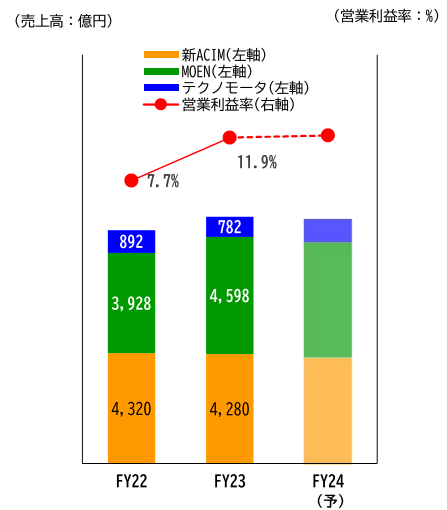
■ 家電・商業・産業用：サブセグメント別業績の内訳と推移

新ACIMとMOENが成長を牽引、収益性も2桁盤石の段階から今後は15%達成を目指す

【家電・商業・産業用の売上高ポートフォリオ】



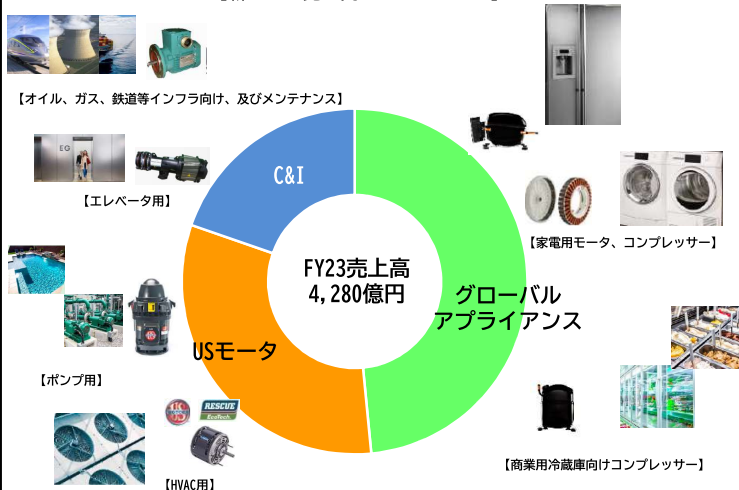
【家電・商業・産業用の売上高と利益率推移】



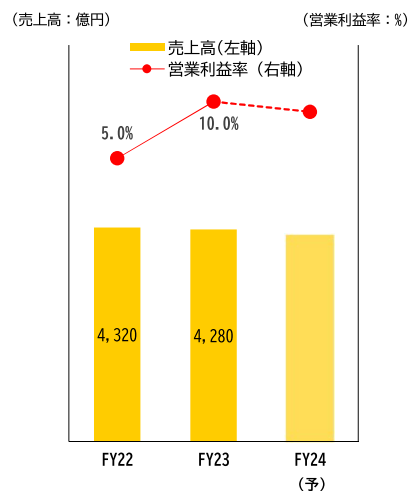
■家電・商業・産業用：新ACIM内訳と業績推移

グローバル家電市場は未だ調整局面も、年度後半の復調に期待しつつ収益改善に注力

【新ACIMの売上高ポートフォリオ】



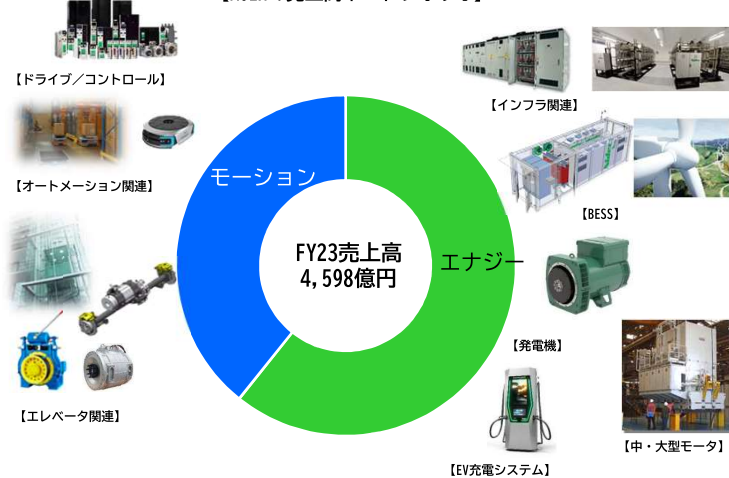
【新ACIMの売上高と利益率推移】



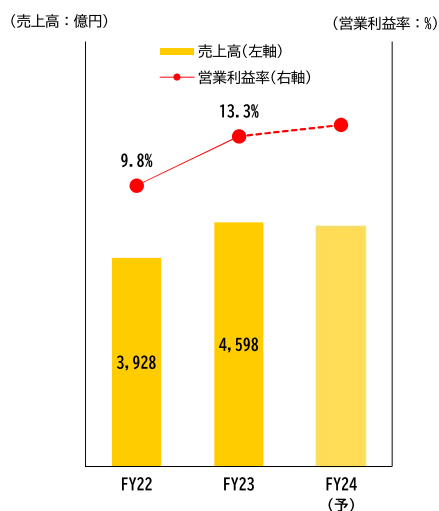
■家電・商業・産業用：MOEN事業の内訳と業績推移

産業及びインフラ関連需要は引き続き堅調。着実な収益改善を目指す

【MOENの売上高ポートフォリオ】

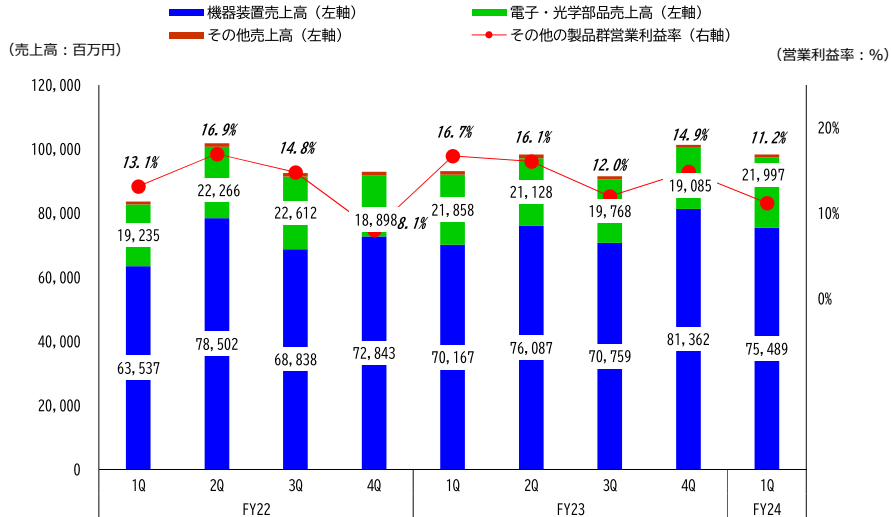


【MOENの売上高推移】

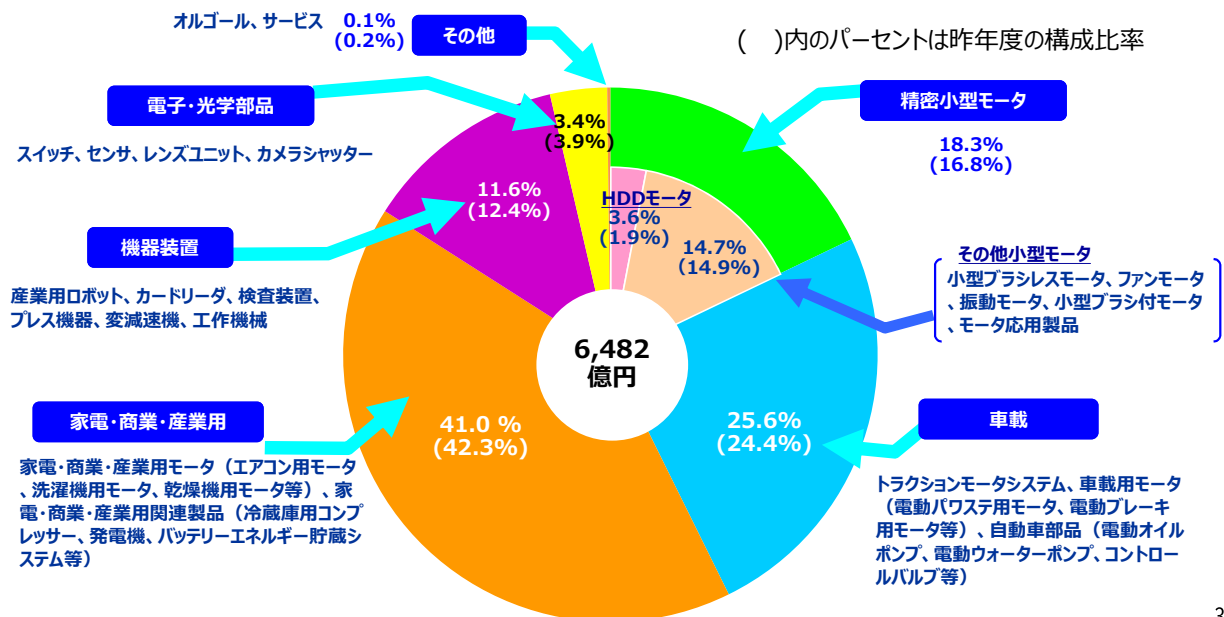


■ その他の製品グループ：四半期別業績推移

製品ラインナップの拡充やクロスセルによるシナジー効果を追求、更なる収益性改善を狙う

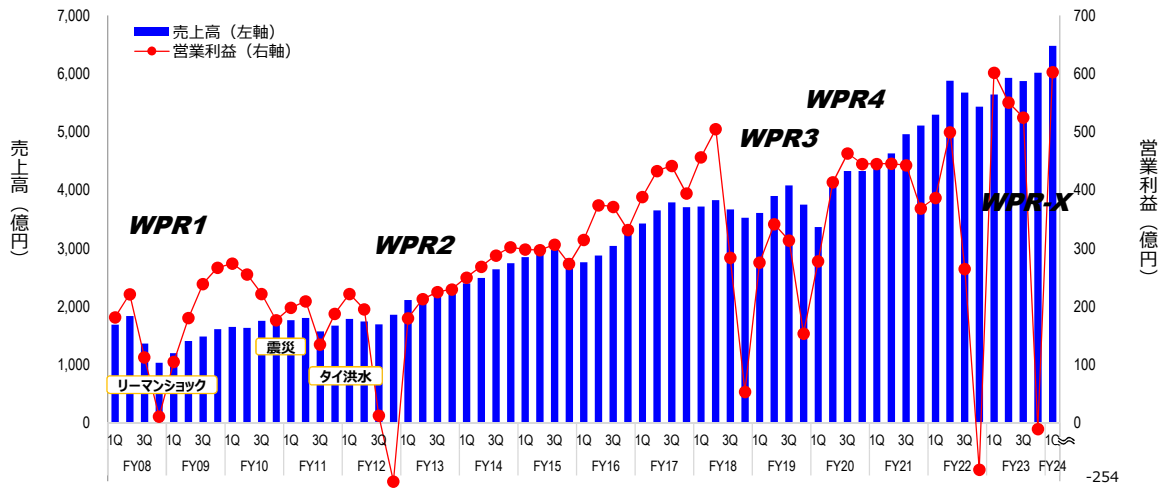


■ FY24/1Q、製品グループ別売上構成



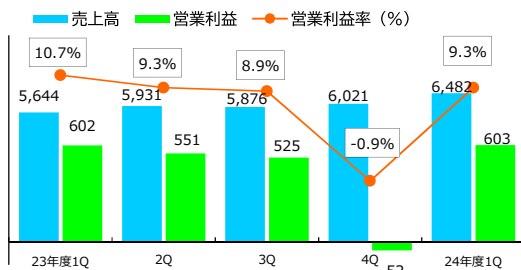
■ 四半期別の業績推移（売上高・営業利益）

FY23の構造改革を経て、収益体質の改善へ

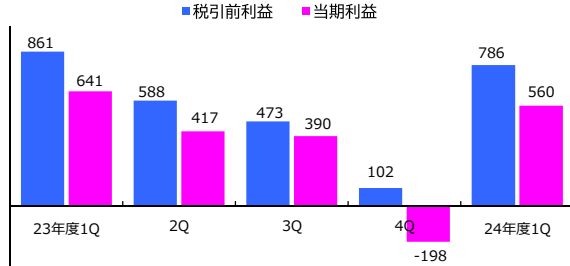


■ 連結決算ハイライト

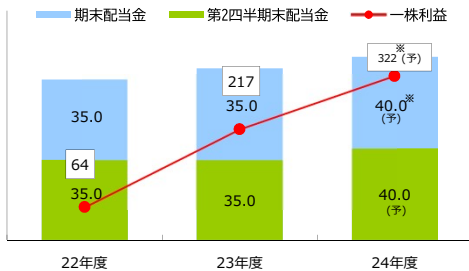
【売上高・営業利益の推移（億円）】



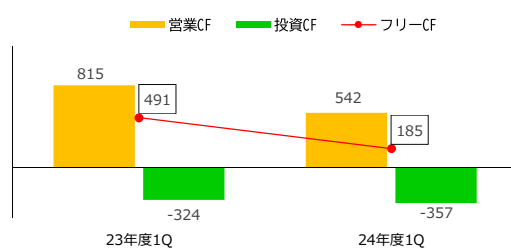
【税引前利益・当期利益の推移（億円）】



【配当金の推移（円）】



【キャッシュフローの推移（億円）】



*一株利益及び配当金は株式会社分科季通前の数値。